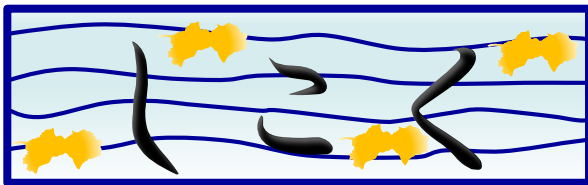


主な記事

旅団演習	(1面)
第9期旅団集合教育「レンジャー」	(1面)
募集広報の日	(3面)
中隊長等集合訓練	(3面)



令和4年(2022年)8・9月 第176号

旅団長統率方針「任務必成」
旅団長要望事項「プロであれ」



陸上自衛隊第14旅団広報紙

発行所：第14旅団司令部総務課広報班
住所：香川県善通寺市南町2丁目1-1
電話：0877-62-2311(内2256・2257)
メールアドレス：pr-14b-ma@inet.gsdf.mod.go.jp

旅団の総合力で勝利を掴む

令和4年度旅団演習

一島しょ部の作戦想定での訓練検閲一

第14旅団(旅団長 遠藤充陸将補)は、8月下旬から9月上旬までの間、高知駐屯地及びあいば野演習場において令和4年度旅団演習を行った。

本訓練は、旅団の作戦遂行能力の向上及び第50普通科連隊、中部方面特科隊、第14偵察隊、第14高射特科隊の訓練検閲を実施して教育訓練の成果を評価するとともに、協同部隊との連携要領について深化を図ることを目的に行われた。当初、高知駐屯地においてミッションリハールとして小火器射撃練度点検を行い、準備を整えた各部隊はいば野演習場に進入し状況が



11短SAMの警戒を行う隊員

開始された。

第14旅団は、第50普通科連隊を基幹とし、情報収集に任ずる第14偵察隊が敵の情報速やかに発見・報告し、火力戦闘の骨幹部隊である中部方面特科隊が味方の状況を把握しつつ火力發揮し、対空戦闘を実施する第14高射特科隊がリーダーにより早期に敵の航空機等を発見・阻止に努めた。各

Pick Up

テツパチ隊員も参加

第14偵察隊は初の女性隊員

本訓練に参加した隊員の中に先輩隊員の助けを受けた。つ、懸命に訓練に参加する隊員の姿が見られた。

その隊員は、4月に入隊したばかりの新隊員であり、某テレビドラマで



隊容検査を受ける
第14偵察隊の新隊員



小隊陸曹とともに近接戦闘に向かう
第50普通科連隊の新隊員

部隊、綿密な作戦計画及び部隊間の密接な連携により任務を完遂し訓練検閲を終了した。
本訓練を終え統裁官より評価を受けた各部隊は、今後の訓練の資とし、引き続き練成を重ねていく。

関連②・④面



敵の動きを静かに偵察する隊員

2年振り！26名の精鋭たちが挑む！！

陸上自衛隊で最も過酷な訓練「レンジャー」始まる

第14旅団は、善通寺駐屯地において、令和4年度第9期旅団集合教育「レンジャー」を開始した。
本教育に際し、8月下旬に教育参加希望者に対して身体検査、体力検査及び水泳検査を行い、検査を突破した者が教育参加の資格を得た。選ばれた26名の隊員は、今後、行動訓練に必要な基礎的技術に関する知識・技能を修得させる基礎訓練や各種状況における任務遂行要領を体得させる行動訓練を通じて「レンジャー」としての強靱な体力及び不撓不屈の気力を練成する。本教育の担任官である第15即応機動連隊長(福井謙一等陸佐)は要望事項として「何としてもレンジャーになれ」を挙げ、隊員の決意表明では、「26人全員で卒業する」と意気込んだ。

第14高射特科隊長



「任務完遂」



(射撃統制手)

2等陸曹 富永 竜徳

3等陸曹 松平 颯

中部方面特科隊 特科隊訓練検閲を受閲 綿密な調整・工夫を凝らした作戦で 敵部隊を困惑

中部方面特科隊(隊長 服部真之介 1等陸佐)は、8月下旬から9月上旬までの間、高知駐屯地及びあいば野演習場において、令和4年度訓練検閲を受閲した。受閲にあたり、隊長は「脳しようにふり絞り、あらゆる手段を尽くして生き残り、火力戦闘を継続せよ」を要望し、各隊員は隊長要望事項を具現すべく全力を尽くした。

特科隊は、戦闘準備間において、健全性を保持するためソイルアーマーを使用し、強固な陣地構築及び指揮所の頻繁な小移動を実施するとともに、敵の火力を誘引する陣地を作成



隊容検査にて戦闘予行を行い
綿密な調整を行う指揮官



砲班長の指揮のもと
ソイルアーマー※を構築する隊員

する等、防御準備を進めた。戦闘間においては、敵の侵攻に必ず火力戦闘及び第50普通科連隊の作戦に資する火力協力を積極的に行い、特科隊としての任務を完遂した。

本訓練検閲において得た成果・教訓を今後の練成訓練に反映し、更なる部隊の精強化を図っていく所存である。



砲班長の指揮のもと
射撃する砲班

※ ソイルアーマーとは、折り畳み式の箱型土のうである。



隊容検査の様子

令和4年度旅団小火器射撃競技会において、優秀な成績を収めるよう計画的に改善していく資を得た。

訓練検閲においては、前々日に隊容検査を実施し、各小隊の準備状況を確

第14偵察隊

第14偵察隊(隊長 今村正文 2等陸佐)は、高知駐屯地及びあいば野演習場において、令和4年度訓練検閲を受閲した。

8月下旬、訓練検閲に先立ち、出動準備におけるミツシヨリハーサルとして小火器射撃の評価を受けた。射撃においては、これまでの練成成果を遺憾なく発揮しつつ、今後の課題を確認し、来た

隊訓練検閲受閲 旅団の魁 任務完遂



ミッションリハーサルの様子

各小隊等は、全隊員一丸となり、要望事項を具現すべく、阻止準備間の監視網の構成において、敵の脅威に対し、秘匿・防護できる監視所を構成した。敵情報明において、最後まで生き残り、継続的に敵情報及び火力戦闘に必要な情報収集を実施し、旅団の作戦に最大限寄与し、任務を完遂した。

第50普通科連隊



化学攻撃を受ける中、警戒する隊員

第50普通科連隊(連隊長 山内和也 1等陸佐)は、8月下旬から9月上旬までの間、高知駐屯地及びあいば野演習場において、令和4年度訓練検閲を受閲した。

検閲を受閲するにあたり約2週間にわたるミツシヨリハーサルを実施し、連隊の全隊員が任務及び戦い方を理解するとともに、各個の戦闘能力の向上を図った。

今回の作戦は、従来の陣地防御とは異なる新



念入りの救護処置予行を行う隊員

な戦い方を採用し、検閲に臨んだ。防御戦闘のみならず施設等の防護を含む多様な任務であり、残暑厳しい折、また時折悪天候にも見舞われたが、隊員一人一人が昼夜を問わず任務達成に尽力した。

今回の連隊検閲で得た戦闘、戦技能力を検証し維持、向上しつつ、あらゆる任務に対応出来る様、今後も訓練に邁進していく。



戦闘中の隊員

認するとともに、任務を完遂するための要望事項として、「生き残って情報を獲得せよ」「自主積極的に行動せよ」「安全管理及び健康管理に万全を期せよ」の三点を要望した。



監視所内の様子

初飛行！！ 第14情報隊

スキャンイーグル、大空に羽ばたく



大空へ飛び立つスキャンイーグル



発射を見守る甲斐隊長

第14情報隊（隊長 甲斐清博2等陸佐）は、令和4年9月上旬、東富士演習場で、高射学校の研究支援において、無人偵察機「スキャンイーグル」の飛行訓練を行った。今年3月、新編された第14



入念に点検を行う隊員

情報隊にとつて初めてとなる、スキャンイーグル実機による飛行訓練となった。発進から回収に至る一連の動作を実機により確認・実行する大切な訓練の場であり、隊員は飛行

前のシステム及び機体の点検に細心の注意を払い、万全の態勢で初飛行に臨んだ。全隊員が固唾を呑み見守る中、スキャンイーグルはカタパルトを勢いよく駆け抜け大空に飛び出していった。所望の飛行を終えたスキャンイーグルを無事回収し、第14情報隊のスキャンイーグル初飛行は成功裡に終了した。部隊新編からこれまでの間、様々な訓練を通じ練度を高め、今回の初飛行に臨んだ隊員は、「本訓練において初飛行は達成したが、今後、更に経験を積み如何なる状況下でも任務を完遂していきたい。」と述べた。第14情報隊は、更なる練度向上に努め、旅団の情報収集態勢の強化を図る。



隊容検査の様子



小型車両の救出



FH-70の故障整備

第14後方支援隊

第14後方支援隊（隊長 吉元雄一1等陸佐）は、9月上旬、あい野演習場において、第3

01特科直接支援隊の訓練検閲を実施した。様々な状況が生じ、各隊員は第301特科直接支援隊長（立野直人1等

陸尉）を核心に一致団結して任務を完遂した。訓練終了後には、第14後方支援隊長自ら作成したうどんが各隊員に振舞われた。

第14後方支援隊 令和4年度訓練検閲

第14高射特科隊



訓練開始前における態勢点検の様子

短SAM対空実射

第14高射特科隊（隊長 富高英和2等陸佐）は、8月上旬、北海道静内対空射撃場で実施された、令和4年度師団対抗実射訓練に参加した。本訓練は、11式短距離地对空誘導弾（短SAM）等を保有する全国の師・旅団の高射特科部隊が射撃準備、模擬実射及び対空実射においての評価を受ける高射特科部隊として最大規模の訓練である。本訓練参加にあたり、小隊長（宮本和也2等陸尉）を核心とし、年度当初から計画的に訓練を実施した。7月には北熊本駐屯地における訓練等により、練度を向上させた後、北海道に入った。北海道においても、その練度を更に向上させるため評価直前まで練成

した。射撃準備、模擬実射及び対空実射のそれぞれの評価を受けるとともに、要撃成功の成果を収めた。小隊長は、「初の射撃小隊長として実射に対する不安はありましたが、みんなの支えがあり、小隊一致団結して臨むことができました。要撃成功の成果は一生の思い出に残るものとなりました。」と語った。弾薬手として初めて実射を経験した石戸1士は「弾薬手として初めての実射に参加し、実弾を扱う時は緊張しましたが、しっかりと自分の任務を達成することが出来ました。」と語った。第14高射特科隊は、今年度の対空実射において、命中・要撃成功の評価を収めることが出来たが、プロであり続けるために今後も更なる練度向上を目指す。



11短SAM射撃の様子



ヘリボン部隊の展開



離陸

第14飛行隊

中部方面航空科合同訓練

第14飛行隊（隊長 福重誠啓2等陸佐）は、日本原駐屯地において、空中機動作戦における空地の連携を主要演練項目として、令和4年度中部方面航空科合同訓練に参加した。空中機動作戦とは、航空機を利用して、あらゆる地形を超越して、ヘリボン部隊を敵地奥深くまで機動させ、作戦基本部隊の任務達成を促進する重要な作戦である。

本訓練では、中部方面航空隊第3飛行隊、第13飛行隊及び第36普通科連隊（ヘリボン部隊）と協同し、AHO1Sが2機、H1が2機、H1が1機、H47が1機の計11機の航空機が3個機隊に分かれ空中機動を実施した。この際、第14飛行隊はヘリコプター部隊の第2梯隊長機として参加した。

成果として、状況下における任務遂行能力の向上を図るとともに、職種協同で実施する大規模な作戦の調整要領を確立することが出来た。

「目的・目標を持って」吉田新隊長要望事項を胸に爆破訓練実施

第14施設隊



道路爆破薬で爆破した様子



破壊筒点火準備の様子



指向性散弾設置の様子

第14施設隊（隊長 正幸2等陸田）は、8月14日、中部方面航空科合同訓練（令和4年度）において、本隊の実施した。本隊は、指向性散弾や対戦車地雷等を用いた障害構成のほかに、破壊筒及び連座爆薬を使用した。各隊員は、隊長の要望事項である「目的・目標を持って」爆破の実践し、爆薬の取扱要領の修得及び各種施設技術能力の向上を図った。

新隊員後期課程教育
～若き通信科隊員～

第14通信隊

第14通信隊（隊長 小野田怜2等陸佐）は、令和4年7月から約4ヶ月間、善通寺駐屯地において、令和4年度一般陸曹候補生課程（後期）及び新隊員特技課程教育を実施中である。

本教育では、基本暗号電信という特技（※1）を得るため、「モールス信号」（※2）の送受信及び「信務作業」（※3）について教育を受けます。

新入隊員の6名は、通信科隊員としての特技を学び、旅団のシステム通信における最後の手段を担う重要な人材となるべく、日夜教育に励んでいます。



無線機を操作する隊員



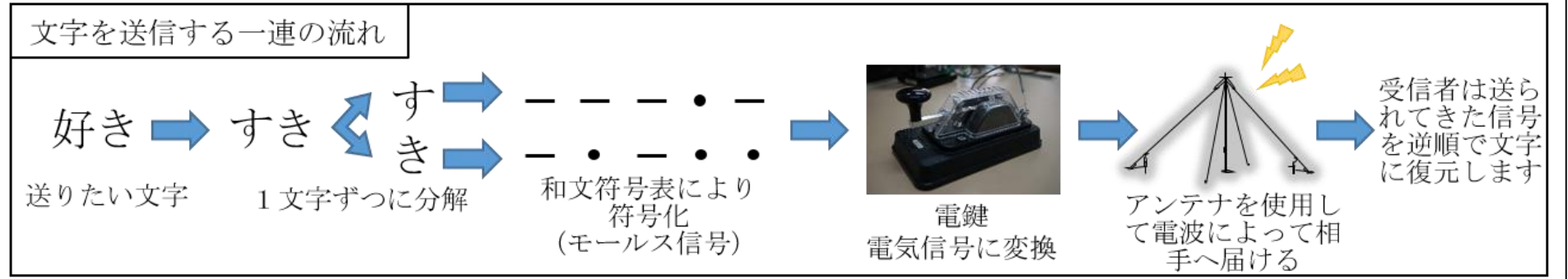
モールス信号を送信する隊員

用語説明

※1 特技ってなに？
自衛官として勤務する上での隊内における資格のことで、通信科職種には暗号電信のほか、システム、サイバー、電磁波など様々なものがあります。

※2 モールス信号ってなに？
モールス信号は文字を短点と長点に符号化したもののことを言います。（いわゆるトントー）
符号化したモールス信号は電気信号（電波）に変えて送信することで相手に届きます。（下図参照）

※3 信務作業ってなに？
信務作業というのは簡単に言えば、平文（暗号化されていない文章）を暗号文に変換し、また送信されてきた暗号文を平文に変換する作業のことです。



汚染地域の除染



成する目的で行った。
本訓練を通じて、訓練参加者の対特殊武器防護に関する知識の理解を深めるとともに、化学活動を修得させ、対特殊武器防護能力の向上を図った。

第14特殊武器防護隊

本訓練は、敵等の特殊武器攻撃が実施できるよう、隊員自ら行う各個防護及び自隊で編成する除染作業隊が行う化学活動を練

第14特殊武器防護隊(隊長 西原清隆3等陸佐)は、8月下旬、北徳島分屯地において、第14飛行隊の隊員に対し、対特殊武器戦に関する座学、個人用防護装備の装着訓練を行うとともに、特技者に対し、汚染地域の偵察要領及び装備品除染所の運営要領等について展示、説明及び実習訓練を実施した。

化学集合訓練



個人防護装備の装脱着訓練



装備品除染所の運営要領



対特殊武器戦の座学

第14旅団司令部付隊

第14旅団司令部総務課

第14旅団司令部総務課 総括陸曹として勤務している南田准尉です。
私の勤務しております総務課は総括班、広報班、文書班で構成されています。
総務課の業務は、司令部の総務業務、文書業務に関する事項及び民事幕僚・広報幕僚に関する事項です。8月末から行われた旅団演習では、ミッションリハーサルでの射

場勤務員、統裁部及び広報の要員として参加しました。

総括班は、高官視察及び滋賀の指揮・統制及び検閲優秀隊員の表彰を実施しました。少ない人数で日ごとに変わる門衛の勤務時間等のニーズに対応しながら、各種事業の準備も計画的かつ円滑に実施しました。

広報班は、旅団演習において、隊員が現場で活躍している様子を撮影しました。猛暑や時には豪雨の降りしきる状況もあり



ミッションリハーサルにおいて撮影を行う隊員



防衛監察に向け書庫の点検を行う隊員



第14旅団司令部総務課 総括陸曹 南田准尉

りましたが、頑張っている隊員の姿を写真を通して情報発信を行いました。演習間、毎日更新されていた隊員の写真展示を楽しみにしていた方も少なくないでしょう。

文書班は、今年度実施される防衛監察受察に万全を期すため残留し、準備を行うとともに、特別勤務等において旅団演習間の勤務基盤の維持に貢献しました。

本演習間においては、気象の影響やそれに伴う状況の変化等が生じましたが、それぞれの部署が連携して、先行的かつ柔軟に対応し、旅団演習における総務課としての任務を完遂することができました。加えて、防衛監察に向けて準備の推進を図りました。

西部航空音楽隊とジョイントコンサート

第14音楽隊

第14音楽隊(隊長 中福島洋一2等陸尉)は、8月25日、レクザムホール(香川県高松市)にて、第14音楽隊と西部航空音楽隊とのジョイントコンサートを行った。

当日は、平日の夜にもかかわらず、子供から大人まで幅広い年齢層の方が来場された。第一部は、第14音楽隊

が単独演奏を行い、第二部は西部航空音楽隊が単独演奏を行った。第14音楽隊が演奏した曲は、夏に合わせて全日本吹奏楽コンクール2022年の課題曲の一つである「やまがふあんだじい」をはじめ「五つの沖縄民謡による組

曲」、「タイタニック」等を演奏した。西部航空音楽隊は「アフリカン・シンフォニー」、「宝島」等を演奏した。第一部のクラシカルな曲と、第二部の楽しく賑やかな曲、それぞれのカラードや雰囲気異なり、来場した方々を楽しめる演奏が出来た。



レクザムホールにて演奏を行う第14音楽隊の隊員

「無口な夫と偵察する妻」

第14偵察隊

3等陸曹

藤木 伸一
妻 里依子さん



訓練中の藤木3曹

「明日からいらないからよろしく」突然投げかけられる言葉に何度も驚いた。どこへ行くのか、いつ帰ってくるのかも告げられず、次の日の朝起きたらいなくなっている。夫は無口である。仕事の話は家ではしない。きつと私に言えないこともあるのだから、それ以上は聞かない。猛暑が続く中、身体は大丈夫なのだろうか心配していた私とは裏腹に、何日かして夫は何食わぬ顔して突然帰ってくる。

夫には内緒だが、私はこの「広報紙しこく」を読み、夫がどんな仕事をしているのか知るのが好きだ。実際の訓練写真を見て、夫が厳しい訓練に耐え、疲れている身体で帰ってきていたことを密かに知る。

自衛官には「団結する力」がとても大切だと聞く。一家の大黒柱である夫が不在の時こそ家族が団結する時。ゴミや水滴一つすら許さない綺麗好きな夫に代わり、二歳になる父親大好き娘と協力し掃除を行う。私は夫がしてくれていたように、子供と一緒に風呂に入り、一緒に歌って踊り、一緒に戯れ、いつもと変わらない、笑って楽しい日々を過ごせるように努めたい。そして夫が訓練から帰ってきた時には、「ほっ。」とできるように、家の中を笑顔いっぱい温めておきたい。それが自衛官の妻としての任務だと思う。

夫は職場の話をしていない。職業柄話せないことも多いのだ



ろう。「結婚したからには喜びは二倍に悲しみは半分」とよく言われるが、夫が仕事で疲れていても私はわかってあげることができない。だからその分、子供の成長や毎日の小さな幸せを何倍にも喜び、夫と分かち合いたい。

夫が家で疲れた顔を見せず、毎日仕事に行き、厳しい訓練に耐えられるのは、職場の人に恵まれ、支えられているからだと思う。夫を支えてくださる人への感謝の気持ちを忘れず、そして、広報紙を通して夫の仕事を偵察しながら、私も夫を支えていきたいと思う。

人事往来

転入

転出



第50普通科連隊長兼
高知駐屯地司令
(北海道補給処
整備計画部企画課長)

1等陸佐

山内 和也



第14施設隊長兼
徳島駐屯地司令
(東北方面総監部
総務部広報室)

2等陸佐

吉田 正幸



第14旅団司令部
火力調整部長
(訓練評価支援隊)

2等陸佐

鬼塚 崇旬



水陸機動団本部高級幕僚
(第50普通科連隊長兼
高知駐屯地司令)

1等陸佐

溝口 光章



陸上幕僚監部
防衛部施設課付
(第14施設隊長兼
徳島駐屯地司令)

2等陸佐

澤水 隆一



陸上自衛隊幹部候補生学校
主任教官
(第14旅団司令部
火力調整部長)

1等陸佐

米良 憲一郎

令和4年8月1日付

旅団唯一無二！

07式機動支援橋のスペシャリスト

十河3曹はどんな人ですか？
日頃どのような仕事をされていますか？
徳島県阿南市に所在する徳島駐屯地の第14施設隊において架設班長として勤務しています。架設班は、第14施設隊が装備する07式機動支援橋を用いて作戦地域の河川や地隙等、また各種災害においても孤立地域への架け橋を期待されています。日々の訓練はもとより、自治体等との防災訓練において、関係各機関と連携し正確安全かつ迅速に架設が実施できるように努めています。

とても明るく誰とでもすぐ打ち解けられる陽気な性格でムードメーカー的存在であり、後輩隊員からも非常に慕われています。特に、機械操作の指揮に熱を入れており5時間かかる作業においても3時間に短縮しているにもかかわらず、現状に満足することなく常に進化を止めない姿勢はともにもしく感じます。

第14施設隊
福岡 2曹



第14施設隊 渡河器材小隊
十河 勇児(そごう ゆうじ)3等陸曹
趣味:キャンプ(河川敷)
好きな橋:瀬戸大橋



部内外表彰

- 全国高等学校体育連盟「感謝状」
第66回全国高等学校登山大会
第15即応機動連隊
- 富士登山駅伝競走大会「表彰状」
(出場20回達成)
第15即応機動連隊

部内

- 新隊員特技課程後期(支援助教)
「第10特殊武器防護隊長賞」
第14特殊武器防護隊
3等陸曹 徳本 友美
- 新隊員特技課程後期(支援助教)
「中部方面衛生隊長賞」
第14後方支援隊衛生隊
3等陸曹 瀬戸 慎平

- 第116期幹部上級課程(武器)
「武器学校長賞」
第14後方支援隊即応機動直接支援中隊
1等陸尉 鈴木 一寿
- 第11期陸曹中級課程
「中部方面混成団長賞」
第15即応機動連隊第1普通科中隊
2等陸曹 高橋 祐輔
- 自衛官候補生課程(支援助教)
「中部方面混成団長賞」
第14後方支援隊本部付隊
3等陸曹 大嶋 美和



陸上自衛隊 第14旅団
逐次発信中！



陸上自衛隊
広報チャンネル



陸上自衛隊広報チャンネル
(YouTube)に
「自衛隊式感染症予防」
を掲載中！